



農業ひろさき

150

2025年11月1日（第237号）
(令和7年11月1日)

青森りんご植栽150周年



編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104

弘前市ホームページ
農業情報はこちらから

農業者年金加入推進表彰

9月3日、青森市において、岩谷裕子農業委員（中崎）が、農業者年金の加入推進活動への功績を称えられ、青森県農業會議と青森県農業者年金協会の会長から表彰されました。

これは、令和6年度も積極的に活動し、3人の新規加入者に結びついた点が高く評価されたものです。

弘前市農業委員会は、これからも農業者の将来に安心をもたらす農業者年金の加入推進を継続していきます。



表彰を受ける岩谷委員（写真右）

青森りんご植栽150周年

りんごの先人記念碑めぐり

第4回 スターキングを普及 「對馬 竹五郎」
〔明治17年（1884）～昭和46年（1971）〕

船沢村（現弘前市）生まれ。外崎嘉七の高弟として、りんご栽培の研究をする。現在の剪定法は、竹五郎がつくりあげた開心型が基礎になっているといわれる。

昭和4年、東京の高級果物店「千疋屋（せんびきや）」は、竹五郎の誠実な人柄と優れた技術を見込んで、新品種「スターキング」の苗木2本をアメリカから送り、栽培を依頼する。竹五郎は丁寧に苗木を成長させ、見事に2個の栽培に成功した。1個は千疋屋に送り、残った1個を少しづつ試食した人々は、その美味しさに声をあげたという。

竹五郎はスターキングの普及に貢献した。それまでの主力品種は国光や紅玉だったが、やがて主役はスターキングになった。スターキングはとても高価に取引され、地域経済をうるおした。さらに竹五郎は、「ふじ育ての親」といわれる齋藤昌美とともに「ふじ」の栽培研究や育成にも力を注いだ。

つがる弘前農協船沢支店向いに、昭和32年に地元船沢の人たちが中心となって建立した胸像がある。晩年、折笠の「じさま」と慕われた竹五郎のあたたかな面差しがみられる。

（参考）新・弘前人物志（「新・弘前人物志」編集委員会）弘前市教育委員会 平成25年

青森りんご植栽150周年記念式典開催

9月13日、弘前市民会館において、青森りんご植栽150周年記念式典が開催されました。

実行委員長を務める県りんご協会の内山国仁会長の式辞に始まり、青森県りんご産業功労者表彰、青森りんご総合戦略の発表などが行われました。

朝陽小学校と青柳小学校の児童4名による発表では、りんごに関わる人々へのメッセージが伝えられ、児童たちは「祖父が作つたりんごが美味しい。私もりんご農家になりたいです。」などの思いを語り、りんごを未来へつなげていくことを誓いました。

式典には、生産者や市場関係者、関係市町村長ら約500人が出席し、りんご産業のさらなる発展に向けて思いを新たにしました。



青森りんご産業功労者表彰の様子



市長の現地視察

9月17日に櫻田市長が市内の3地区（新法師、相馬、石川）の生産者を訪ね、りんごの生育状況を視察し、これから本格化する収穫作業に向けて、生産者を激励しました。

今年は昨冬の記録的な豪雪による雪害や、少雨による干ばつなど、気象に伴う被害に加え、クマや鳥による食害にも見舞われるなど、生産現場の厳しさが増しています。櫻田市長は「今年は、昨冬の豪雪による雪害に加え、夏場の水不足により小玉傾向であると伺っていたが、その後の雨で玉伸びも回復してきていると感じている。これから本格的な台風シーズンとなりますので、対策には万全を期し、実りある出来秋を迎えるよう頑張ってほしい。」とコメントしました。



視察の様子

りんご植栽150周年記念 りんご収穫祭を開催します！

りんごの収穫期を迎えたりんご公園で、豊作を祝い、「ひろさきりんご収穫祭」を開催します。

りんご植栽150周年にちなんだ各種イベントを用意し、皆さまのご来園をお待ちしています。

◆日時 11月1日（土）～11月2日（日）午前10時～午後3時

◆場所 りんご公園（清水富田字寺沢）

◆イベント内容

- ・りんごの宝さがし
- ・毎日アップルパイ
- ・りんご文化祭（地元団体によるステージ）
- ・りんごを使った各店舗のオリジナルメニューの販売
- ・りんご園のクラフトスクール
- ・りんご植栽150周年記念カプセル抽選会

◆問い合わせ先

りんご課

販売・発信係

（市役所前川本館
3階）

☎ 40-2354



雪害に係るりんご苗木の 需要調査（アンケートのお願い）

県では、昨冬の雪害園地の改植・補植に必要なりんご苗木の数量を把握し、来年度以降の苗木増産の参考とするため、アンケートを行うこととしましたのでご協力をお願いします。

なお、今回の調査は、苗木注文の受付ではありませんので、ご了承ください。

◆対象者 りんご生産者

◆アンケート内容 改植・補植に必要なりんご苗木の種類と本数

◆回答期限 11月14日（金）

◆回答方法 二次元コードから回答をお願いします。

■問い合わせ先

青森県農林水産部りんご果樹課
生産振興グループ

☎ 017-734-9492



農地に係る許可申請の審議・決定結果概要

農地の売買・賃借等の申請の許可等にあたり、農業委員会は毎月の総会で審議し、農地の適正利用の推進に努めています。

『4月～9月末までの審議結果』

区	分	件 数	面 積 (m ²)
農地の権利移動 (農地法第3条)	所有権の移転	113	401,791
農地を耕作する目的で、所有権を移転、賃借権等を設定する場合の許可申請	使用収益権の設定	110	644,276
(農地法第3条の3) 農地の相続等をした場合の届出	相続等の届出	110	1,081,006
権利移動を伴わない転用 (農地法第4条)	市街化区域	1	37
農地の所有者が、農地を農地以外に転用する場合の許可申請・届出	市街化区域以外	3	579
権利移動を伴う転用 (農地法第5条)	市街化区域	4	2,112
農地の所有者以外が、農地を農地以外に転用する場合の許可申請・届出	市街化区域以外	13	13,206
農地売買等事業	所有権の移転	67	294,631
農地中間管理事業	使用収益権の設定	33	197,154
賃貸借の合意解約		42	176,682

■問い合わせ先 農業委員会事務局農地調整係・農地利用促進係（市役所前川本館3階） ☎ 40-7104

今後も地域で連携し設置率100%を目指しましょう！

りんごを守ろう！アップルパトロール出動式

9月26日にりんご公園にて、弘前警察署主催の「りんご盗難防止アップルパトロール出動式」が開催されました。

式では、りんごの盗難防止に向けて、櫻田市長が「生産者の皆様が丹精込めて作られた高品質のりんごが、消費者へ無事に届けられるよう、盗難防止パトロールや生産者の防犯意識の向上に向けた広報活動など、安全で安心して暮らせるまちづくりに引き続きご協力を賜りたい。」と挨拶しました。

収穫したりんごの野積みはやめ、定期的にりんご畠の見回りを行うなど、自主防犯の強化に努めましょう！



アップルパトロール出動の様子

「清水森ナンバ」を栽培してみませんか

弘前在来トウガラシ「清水森ナンバ」を栽培する新規会員を募集していますので、希望される方はお問い合わせください。

なお、健康な土で高品質なナンバを育てるにあたり必要な、栽培を始める前の土壤診断をサポートいたしますのでお気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先 在来津軽「清水森ナンバ」ブランド確立研究会事務局（青森県特産品センター内）
中村、檜山、佐々木 ☎ 39-1811



りんご公園りんごトラック市2025

市内近郊の農家さんが「ふじ」「玉林」をはじめとした旬のりんごや農産物、加工品を持ち寄り、りんご公園で販売会を開催します。

農家さんと直接お話しながら、弘前の旬の味覚をお買い求めください。

◆日時 11月23日（日・祝）
午前10時～午後3時

◆場所 りんご公園第1駐車場（清水富田字寺沢）

■問い合わせ先

弘前市りんご公園 ☎ 36-7439



農振除外申出12月15日締切

農地転用、その前に・・・

市では、農業振興のために利用・保全すべき土地を、「農用地区域」として設定しています。

この区域内の農用地を住宅用地や農業用施設用地（倉庫、資材置き場など）といった耕作以外の目的で使用する場合は、市が設定している区域から除外するなどの手続きが必要となります。

12月15日を過ぎますと、次回分は、4月30日が締切となる予定です。また、令和7年4月から、農振の手続きと並行して、地域計画からの除外の手続きも必要となります。

なお、受付・相談は、農用地の所在する各地区的担当課窓口で行っています。

■問い合わせ先

【弘前地区】農政課農地支援係（市役所前川本館3階）

☎ 40-0656

【岩木地区】総務課農林係（岩木庁舎1階）

☎ 82-1621

【相馬地区】総務課農林係（相馬庁舎1階）

☎ 84-2111



農地等の利用の最適化の推進に

関する指針を変更しました

農業委員会等に関する法律に基づき、令和4年に定めた市農業委員会の「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」（令和5年一部修正）について、3年が経過したことから目標や具体的な推進方法を再検討し、9月22日開催の農業委員会総会で変更を決定しました。

変更した指針は、農業委員会事務局、岩木分室（岩木庁舎）、相馬分室（相馬庁舎）に設置しているほか、市ホームページ（二次元コード）でも公表しています。

■問い合わせ先

農業委員会事務局農地利用促進係

☎ 40-7104



全国農業新聞購読のご案内



全国農業新聞は、1週間の農政の動きや、現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝えることを目的に、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。
ぜひご購読ください。

◆発行日 毎週金曜日

◆購読料 月額700円（令和8年4月から月額900円）

◆お支払 年2回（1月、7月）4,200円

全国農業会議所による口座振替

■購読申込み・問い合わせ先

地区の農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局総務係 ☎ 40-7104

農作物及び庭木の果実の収穫徹底 お願い～農作物被害を減少させるために～

野生鳥獣による農作物被害が深刻となっております。
被害を防ぐためには、野生鳥獣にとって畑や集落がエサ場として魅力のない場所にすることが大切です。野生鳥獣による農作物被害等にあわないと次のこと注意しましょう。

- 放置された農作物は土中に埋める等、適切に処分する。
- 木に残っている果実は可能な限り残さず処理する。
- 利用していない果樹等は伐採する。

農業者の皆様のご協力をお願いします。野生鳥獣による農作物被害を受けた場合は問い合わせ先へご連絡ください。

■問い合わせ先 農村整備課鳥獣対策係

(市役所前川本館3階) ☎ 40-4155



青森りんご総合戦略策定

青森県では、50年後の植栽200周年を迎えるときにも、国内外から評価されるりんご産地であり続けるためのグランドデザインとして、「青森りんご総合戦略」を策定しました。

この戦略では、「夢をもって働く稼げるりんご産業」をめざす姿として、「生産量40万トン以上の確保」と「販売額1,800億円以上の確保」の2つの目標を掲げ、「生産の高度化」、「販売力の強化」、「経済波及の拡大」の3つの行動指針に基づく18の方向性と38の具体的な取組を展開していきます。

詳細は県ホームページ(二次元コード)をご覧ください。



■問い合わせ先

青森県りんご果樹課 ☎ 017-734-9492

知らないと損！農業者年金で税金対策



まず農業者年金ってなに？



農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である國民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で2階部分の年金を準備する必要があります。
この2階部分として農業者には農業者年金があります。

農業者の年金
(國民年金+農業者年金)

農業者年金
國民年金（老齢基礎年金）

でも・・・加入には条件があるんでしょ？

農業者年金

には…

國民年金
第1号
被保険者
國民年金保険料
納付免除者を除く

年間60日以上
農業に従事

60歳未満

の方ならどなたでも加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。

通常加入の場合、保険料は月額2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円)から6万7千円の中で自由に選択できます。

その支払った保険料全額が社会保険料控除となりますので、その分課税対象所得が減り税金が安くなります。

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万2千円)が経営主の所得から控除できます

保険料の前納納付を活用し、税金対策を。



前納すれば翌年1年間の保険料も全額社会保険料控除に使える！

注意点

11月15日が前納申し込み期限ですので、翌年の3月の確定申告で社会保険料控除として申告を考えている場合は、それまでにJJAの窓口で申し込みをする必要があります。

1月初旬に今年の売上のチェックを！！

詳しい内容のお問い合わせは…

農業委員会事務局総務係 ☎ 40-7104